

# ***KARATEWEEK***

**—第 21 回全日本パラ空手道競技大会—**

# 第21回全日本パラ空手道競技大会 大会実施要項

## 公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励事業

1. 大会名 第21回全日本パラ空手道競技大会
2. 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
3. 後援 スポーツ庁 厚生労働省 こども家庭庁 (公財) 日本オリンピック委員会  
(公財) 日本スポーツ協会 (公財) 日本パラスポーツ協会 東京都  
(公財) 日本武道館 日本武道協議会 (公財) 東京都スポーツ協会
- |    |
|----|
| 予定 |
|----|
4. 場所 東京武道館  
住所：東京都足立区綾瀬3-20-1  
交通：東京メトロ千代田線・JR常磐線 綾瀬駅東口 徒歩5分程度
5. 日時 令和7年8月23日(土)  
選手集合 9時00分  
開始式 9時20分  
競技開始 9時30分  
閉会宣言 12時00分  
※あくまでも予定時刻となります。多少前後することがございますので  
予めご了承ください。
6. 種目 (1) 形・組手競技 男子・女子個人戦  
クラス1 肢体不自由(上肢障がい)  
クラス2 肢体不自由(上下肢・体幹障がい)  
クラス3 車椅子  
クラス4 視覚障がい  
クラス5 聴覚障がい  
クラス6 知的障がい

<注>各種目のクラス分けについて

- 障がいを各クラスに分けた上で、障がい部位、障がいにより細分化し、それぞれのクラスで男女別・年齢別に分けて実施する。
  - 年齢(令和7年4月1日現在)は次の区分に分けて競技するものとする。  
A. 10～12歳 B. 13～15歳 C. 16～20歳  
D. 21～39歳 E. 40～65歳 F. 65歳以上(形競技のみ)
  - 障がい複数あり、それぞれのクラスで出場が可能である場合でも、参加できるのは一つのクラスのみとする。複数のクラスにまたがっての申込は認めない。
  - 申し込み締め切り後にクラスを変えての参加は認めない。
  - 組手競技のクラス6については、申込があっても障害の程度により出場できない場合がある。
- ※上記に関わらず、申込者数によってクラス分けを調整する場合がある。

7. 競技規定 公益財団法人全日本空手道連盟競技規定（2023年4月1日初版、新ルール）並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

8. 競技方法

(1) 形競技個人戦

- ① トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
- ② 全試合1名演武とし、得点方式を採用する。  
但し、必要に応じて審判員が協議し、決定する場合もある。
- ③ 形は自由選択とする。各自の身体機能を考慮し、創意工夫により形の内容を適宜改変することを認める。  
(必ずしも指定形通りでなくてもよい)
- ④ 初戦から決勝戦まで同じ形を繰り返し演武することができる。
- ⑤ 同点の場合は以下の順番の解決方法により勝敗を決定する。

【同点の解決方法】

- ① 有効点のうち最低点の高い者
- ② 有効点のうち最高点の高い者
- ③ 再演武

(2) 組手競技個人戦

- ① トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
- ② 競技時間は次による。  
(ア) 年齢区分A～B（10～15歳）：1分30秒フルタイム  
(イ) 年齢区分C～E（16～65歳）：2分フルタイム  
※参加人数の状況に応じて競技時間の違うカテゴリーを統合した場合、審判員が協議し、競技時間を決定する場合がある。
- ③ 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとし、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。
- ④ 競技終了時に同点で先取のない場合は、1本の多い選手を勝ちとし、それでも同数の場合は技ありの多い選手を勝ちとする。
- ⑤ 上記④でも決しない場合においては、当該審判団の判定により勝敗を決定する。

(3) 組手安全具は（公財）全日本空手道連盟承認の承認品を使用すること。

- ① 拳サポーター、メンホーVII、ボディプロテクター、インステップ・シンガードを装着すること。
- ② 男子選手（車椅子競技を除く）は、ファウルカップを必ず装着すること。  
※これら安全具は選手各自において用意すること。  
※安全具に不備のある選手は出場することができない。

(4) 選手の服装について

- ① 空手着メーカーについては指定しない。
- ② 胸マークは自由とする。
- ③ 形競技での補装具の装着を認める。但し、組手競技においては事前に安全を確認されたものについてのみ、装着を認める。  
※事前に主催者に確認を取ること。
- ④ 赤・青帯は（公財）全日本空手道連盟で検定された帯を各自で用意し、着用すること。

- (5) 監督・コーチ等の服装について
  - ①監督・コーチは、審判員との区別をつく地味なカジュアルフォーマルを着用のこと。但し、必要に応じて白の空手着を着用することができる。
  - ②介助者はこの限りではない。
  - ③監督・コーチ・介助者は常に、IDカードを携帯する。

9. 表彰 種目別、同一クラスごとに形競技・組手競技ベスト8以上進出選手を以下の通り表彰する。

- (1) 第1位、第2位、第3位(2名)、第5位(4名)の選手にメダルを授与する。
- (2) 表彰は各クラス競技終了後に順次行う。
- (3) 参加者全員に参加賞を授与する。

10. 審判員 大会審判団は、(公財)全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

11. 監督会議 事前にオンラインにて実施する。

日時：令和7年8月5日(火) 19:00~20:00

方法：ZOOMによるオンライン開催とし、後日リンクを事務局に共有する。

内容：全少大会、パラ競技大会の順に説明する。

12. 安全管理 (1) 選手は、各自の責任において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。特に補装具を使用する場合においては、担当医師による安全確認、使用許可を得ておくこと。  
(2) 主催者において、参加選手全員に傷害保険を付保する。  
(3) 出場選手が競技中に負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。  
(4) 選手は、必ず健康保険証、身体障害者手帳及び療育手帳等、治療に要するものを携行すること。

13. 参加資格 (1) 出場選手・監督・コーチは、(公財)全日本空手道連盟会員であること。  
(2) 選手の参加資格は下記の通りとする。  
(ア)令和7年4月1日現在、10歳以上の身体障がい者及び知的障がい者(平成27年4月1日以前に生まれた者)とする。  
(イ)身体障がい者は身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条の規程により、身体障害者手帳の交付を受けた者。  
(ウ)知的障がい者は厚生事務次官(昭和48年9月27日厚生省児第156号)による療育手帳の交付を受けた者。  
(エ)各都道府県空手道連盟が出場を認めたものであること。  
(3) 監督・コーチは各1名まで登録可能とする。  
(4) 監督・コーチは、(公財)日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上又は都道府県審判員(組手・形のどちらか)以上の資格を有する者。  
(5) 選手1名に対して、介助者IDを1枚発行する。介助者の保有資格は問わない。

14. 費用 1種目につき5,000円とする。

※納入後の返金は不可。

※各都道府県空手道連盟の大会担当者が合計額を一括で支払う。

15. 申込方法 全空連会員システムによるWEB申込とする。  
※申込後、都道府県空手道連盟担当者は選手の障害者手帳もしくは療育手帳をデータで全空連に提出すること。  
※同一者が、形と組手の両方の競技に参加することができる。  
※申込後の変更は原則認めない。
- 参加選手は大会申込とは別に出場選手登録フォームに回答すること。  
出場選手回答フォーム：<https://forms.gle/ZoPcNw1Ca7K532pB7>
16. 申込期間 令和7年5月12日(月)～6月8日(日)  
※期間後の申込は一切受け付けない。
17. 宿泊等 宿泊・交通費は自己負担とし、各自で手配すること。
18. 肖像権について  
本大会は、大会の様相をインターネットのライブ配信を予定しており、観戦できない関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。
- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟及び関係機関が認めたライブ配信業者・報道機関等によって、撮影された映像が中継・録画放映及びインターネットにより配信または二次利用されることがある。
  - (2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報(氏名、所属など)、大会記録等を公表することがある。
  - (3) 本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。
  - (4) 訂正などを希望される場合は、本人であることを確認したうえで、当連盟の定める書面の提出又は当連盟ホームページからのお問い合わせフォームにより応じる。  
(<https://www.jkf.ne.jp/contactus>)
19. その他 (1) ゼッケンは主催者で作成し、7月中旬ごろまでに各都道府県連盟事務局に送付する。各連盟において出場選手に配布すること。  
その際、ゼッケンの貼り付けについて周知徹底すること。  
(2) 選手は開始式、表彰式、閉会式には必ず参加すること。  
(3) 各クラスを等級により細分化しないため、公平性を担保するために申し合わせ事項を定めることができる。
20. お問い合わせ お問い合わせについては、都道府県空手道連盟の担当者が行うこと。  
※選手やその関係者などからの直接のお問い合わせはご遠慮ください。
- |  |
|--|
| 公益財団法人全日本空手道連盟 企画業務課 砂川雄飛<br>TEL : 03-5534-1951 E-mail : y-sunakawa@jkf.jp |
|--|
21. 会場使用上の注意  
(1) 大会前日から東京武道館入口周辺にブルーシート等を貼って場所取りをすること、飲酒することは禁止とする。  
(出場選手関係者の飲酒が発覚した場合は、所属都道府県役員及び関係者の入館をお断りさせていただきます場合があります。またコンクリート面へのガムテープの使用は禁止されておりますので、絶対に使用しないで下さい)

- (2) 大会当日に東京武道館敷地内ならびに周辺の公園等で練習を行わないこと。  
(館外での練習は終日禁止)
- (3) 館内に靴を直に持ち込まないこと。  
(靴袋は各自で準備し、必ず靴袋に入れてから入館すること)
- (4) 観客席及び練習場等に縄を張ったり、荷物等を置いたりして占拠すること、  
大会終了後に荷物を観客席に置いて帰ることは禁止とする。
- (5) 東京武道館周辺に一般車及びバスの駐車をする場合は控えること。  
(なおバスによる乗降の場所は綾瀬駅前を利用すること)。
- (6) 館内通路等において、ブルーシート等での場所取りや座り込みを行うなど、救急搬送の  
対応や有事の際に安全な大会運営に支障をきたす行為を禁止する。
- (7) 観客席最前列の手すりに寄りかかり観戦することを禁止する。